



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 カルビー株式会社

コード番号 2229 URL <http://www.calbee.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊藤 秀二

問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 財務経理本部長 (氏名) 菊地 耕一 (TEL) 03-5220-6222

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	59,831	14.5	6,098	3.9	6,061	2.9	3,482	3.1
27年3月期第1四半期	52,269	9.9	5,867	28.4	5,891	17.4	3,378	5.1

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 4,435百万円(24.9%) 27年3月期第1四半期 3,551百万円(△8.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	26.11	26.05
27年3月期第1四半期	25.31	25.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	158,241	119,611	69.4
27年3月期	161,968	118,800	67.7

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 109,742百万円 27年3月期 109,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	28.00	28.00
28年3月期	-	-	-	-	-
28年3月期(予想)	-	0.00	-	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	8.0	28,800	19.1	28,000	9.3	15,800	11.9	118.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 一 、 除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期1Q	133,665,800株	27年3月期	133,629,800株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	228,132株	27年3月期	228,132株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期1Q	133,419,119株	27年3月期1Q	133,453,019株

(注) 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式については、平成28年3月期第1四半期及び平成27年3月期の「期末自己株式数」にそれぞれ227,300株含めており、平成28年3月期第1四半期及び平成27年3月期第1四半期の「期中平均株式数」においてそれぞれ、227,300株、103,400株控除しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2 平成28年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数133,437,668株により算定しております。
- 3 当社は、平成27年8月3日(月)に機関投資家・アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。この電話会議の音声情報については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融緩和政策により企業業績や雇用情勢が改善するなど回復基調にあるものの、消費税増税による実質的な所得水準の低下や物価上昇の影響により個人消費の回復は足踏み状態にあります。

スナック菓子業界におきましては、市場は消費税増税の影響で一時的に需要が落ち込んだ前年を上回って堅調に推移しました。

このような環境にあつて、当社グループは、引き続き、イノベーション（成長戦略）とコスト・リダクションを経営の二本柱とする事業活動を推進しました。国内事業では、ポテト系スナックやシリアル食品の「フルグラ」が好調で市場シェアを拡大することができました。海外事業では、北米の「Harvest Snaps」と韓国の「Honey Butter Chip」が引き続き好調で、収益拡大に貢献しました。また、海外事業のさらなる拡大に向けて、平成27年4月にシンガポールでの売上・シェア拡大を目的として販売代理店を子会社化いたしました。

コスト・リダクションでは、引き続き、工場稼働率や生産効率の向上による製造原価率の低減と販売管理費の効率的運用に努めました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、食品製造販売事業が好調に推移したことにより、59,831百万円（前年同四半期比14.5%増）となりました。利益面では、円安に伴う原材料価格の上昇や償却負担増により売上原価率が上昇しましたが、増収による利益増により、営業利益は6,098百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。経常利益は、円安に伴う為替差益197百万円、開業費308百万円を計上したことなどにより、6,061百万円（前年同四半期比2.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,482百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

	平成27年3月期 第1四半期		平成28年3月期 第1四半期		伸び率 (%)	現地通貨 ベースの 伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
国内売上高	47,649	91.2	51,965	86.9	+9.1	+9.1
海外売上高	4,619	8.8	7,866	13.1	+70.3	+47.9
合計	52,269	100.0	59,831	100.0	+14.5	+12.5

・事業別の状況

(食品製造販売事業)

食品製造販売事業の売上高は、ポテト系スナックやシリアル食品、海外事業が貢献し、58,921百万円（前年同四半期比14.7%増）となりました。

・スナック菓子

スナック菓子の売上高は、49,782百万円（前年同四半期比13.0%増）となりました。

① ポテト系スナック

ポテト系スナックの売上高は、29,874百万円（前年同四半期比9.2%増）となりました。

「ポテトチップス」の売上高は、発売40周年増量キャンペーンを行ったベーシックシリーズ、「堅あげポテト」やお取引先各社のプライベートブランドの製造受託が好調で、18,379百万円（前年同四半期比13.7%増）となりました。「じゃがりこ」の売上高は、「たらこバター」などの売上が伸長し、8,417百万円（前年同四半期比3.0%増）となりました。「Jagabee」の売上高は、定番品の減少を期間限定品でカバーできず、2,193百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

② 小麦系スナック

小麦系スナックの売上高は、「かつばえびせん」や「サッポロボテト」の売上が前年を下回り、5,421百万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。

③ コーン系スナック

コーン系スナックの売上高は、「ギャレット ポップコーン ショップス」での販売や「ドリトス」の売上が堅調で、4,582百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。

④ 国内その他スナック

国内その他スナックの売上高は、「ベジップス」が減収となったことなどにより、2,037百万円（前年同四半期比4.5%減）となりました。

⑤ 海外事業

海外事業の売上高は、北米事業と韓国事業が好調で、7,866百万円（前年同四半期比70.3%増）となりました。北米では「Harvest Snaps」の新工場が6月より稼働を開始しました。

・その他食品（ベーカリー、シリアル食品）

その他食品の売上高は、5月に生産能力を拡大したシリアル食品の「フルグラ」の売上が大きく伸長し、9,139百万円（前年同四半期比25.5%増）となりました。

（その他事業）

その他事業の売上高は、物流事業の売上は伸長したものの、販売促進ツールの売上が前年を下回り、909百万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、有形固定資産が増加しましたが、有価証券が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ3,726百万円減少し、158,241百万円となりました。有形固定資産は売上成長が続いているシリアル食品や北米の生産設備を取得したことにより増加しました。有価証券の減少は商業ペーパーが償還されたことによるものです。

負債は、未払法人税等及び賞与引当金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ4,537百万円減少し、38,630百万円となりました。

純資産は、非支配株主持分が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ810百万円増加し、119,611百万円となりました。

この結果、自己資本比率は69.4%となり、前連結会計年度末に比べ1.7ポイント上昇しました。また、1株当たり純資産額は822円43銭となりました。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ553百万円減少し、42,019百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益および減価償却費の増加、売上債権の減少や仕入債務の増加などの収入がありましたが、未払消費税等の減少により、前年同四半期に比べ収入が533百万円減少し、1,932百万円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、シリアル食品や北米の生産設備を取得しましたが、有価証券が償還されたことにより、前年同四半期に比べ収入が2,588百万円増加し、958百万円の収入となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどにより、前年同四半期に比べ支出が1,614百万円増加し、3,664百万円の支出となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、概ね計画通りで推移しており、平成27年5月12日に発表した業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第1四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,891	18,424
受取手形及び売掛金	21,119	20,715
有価証券	34,995	26,999
たな卸資産	8,037	9,036
その他	6,502	5,062
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	89,541	80,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,369	24,205
機械装置及び運搬具(純額)	17,159	22,875
土地	11,501	11,704
建設仮勘定	9,387	4,412
その他(純額)	1,337	1,379
有形固定資産合計	59,754	64,576
無形固定資産		
のれん	2,719	2,789
その他	1,835	2,446
無形固定資産合計	4,555	5,235
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,196	8,275
貸倒引当金	△79	△80
投資その他の資産合計	8,117	8,195
固定資産合計	72,427	78,008
資産合計	161,968	158,241

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,387	10,457
短期借入金	402	410
未払金	5,165	5,295
未払法人税等	5,174	1,681
賞与引当金	3,775	1,670
役員賞与引当金	198	53
株式給付引当金	83	83
その他	10,041	10,299
流動負債合計	34,227	29,951
固定負債		
役員退職慰労引当金	573	480
役員株式給付引当金	132	132
退職給付に係る負債	7,076	6,892
資産除去債務	637	639
その他	520	535
固定負債合計	8,940	8,679
負債合計	43,168	38,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,975	11,983
資本剰余金	11,543	11,551
利益剰余金	84,956	84,697
自己株式	△699	△699
株主資本合計	107,774	107,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	617	630
為替換算調整勘定	2,377	2,661
退職給付に係る調整累計額	△1,116	△1,082
その他の包括利益累計額合計	1,877	2,209
新株予約権	25	22
非支配株主持分	9,122	9,845
純資産合計	118,800	119,611
負債純資産合計	161,968	158,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	52,269	59,831
売上原価	29,174	34,725
売上総利益	23,094	25,106
販売費及び一般管理費	17,226	19,008
営業利益	5,867	6,098
営業外収益		
受取利息	78	62
受取配当金	18	16
為替差益	—	197
その他	90	63
営業外収益合計	187	339
営業外費用		
支払利息	1	2
開業費	13	308
為替差損	125	—
その他	24	65
営業外費用合計	163	375
経常利益	5,891	6,061
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	10	—
特別利益合計	11	0
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	43	14
製品回収関連費用	—	26
その他	0	—
特別損失合計	46	41
税金等調整前四半期純利益	5,857	6,020
法人税、住民税及び事業税	1,470	1,644
法人税等調整額	711	407
法人税等合計	2,182	2,052
四半期純利益	3,675	3,968
非支配株主に帰属する四半期純利益	296	485
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,378	3,482

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	3,675	3,968
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55	13
為替換算調整勘定	△222	419
退職給付に係る調整額	43	34
その他の包括利益合計	△123	466
四半期包括利益	3,551	4,435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,358	3,814
非支配株主に係る四半期包括利益	193	620

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,857	6,020
減価償却費	1,421	1,719
のれん償却額	160	176
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,176	△2,105
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△171	△145
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△1	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△230	△114
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△6	△27
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△101	△93
受取利息及び受取配当金	△97	△78
支払利息	1	2
為替差損益(△は益)	254	△61
投資有価証券売却損益(△は益)	△10	—
固定資産売却損益(△は益)	1	△0
固定資産除却損	43	14
売上債権の増減額(△は増加)	241	611
たな卸資産の増減額(△は増加)	△785	△960
仕入債務の増減額(△は減少)	501	960
未収入金の増減額(△は増加)	86	56
未払金の増減額(△は減少)	26	24
未払費用の増減額(△は減少)	1,373	1,076
未払消費税等の増減額(△は減少)	447	△1,378
その他	791	1,221
小計	7,628	6,918
利息及び配当金の受取額	88	77
利息の支払額	△0	△3
法人税等の支払額	△5,250	△5,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,465	1,932

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,569	△6,197
有形固定資産の売却による収入	5	0
無形固定資産の取得による支出	△92	△716
有価証券の取得による支出	△4,000	—
有価証券の償還による収入	5,000	8,000
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	18	—
貸付けによる支出	△60	△150
貸付金の回収による収入	97	195
定期預金の預入による支出	△173	△284
定期預金の払戻による収入	109	205
差入保証金の差入による支出	△29	△72
差入保証金の回収による収入	69	66
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△92
その他	△1	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,629	958
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	128	—
ストックオプションの行使による収入	20	14
非支配株主からの払込みによる収入	761	—
配当金の支払額	△2,937	△3,660
非支配株主への配当金の支払額	△2	△3
リース債務の返済による支出	△19	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,049	△3,664
現金及び現金同等物に係る換算差額	△199	219
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,412	△553
現金及び現金同等物の期首残高	31,592	42,572
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,180	42,019

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。